

令和2年1月期 第3四半期
決算説明資料

バリューゴルフ
VALUE GOLF

株式会社バリューゴルフ

令和元年12月13日



JPX

東証マザーズ上場

証券コード：3931

令和2年1月期 第3四半期

経営成績ハイライト

連結経営成績－損益計算書

令和2年1月期第3四半期は、売上高4,190百万円、営業利益13百万円での着地となりました。

売上高は前年同期比42.8%増と堅調に推移しましたが、売上原価ならびに販売費及び一般管理費の増加が利益を圧迫する結果となりました。

	平成31年1月期 第3四半期	令和2年1月期 第3四半期	増減額	前年同期比 増減率
売上高（千円）	2,933,434	4,190,305	1,256,871	+42.8%
売上原価（千円）	2,172,820	3,209,272	1,036,452	+47.7%
売上総利益（千円）	760,614	981,032	220,418	+29.0%
販売費及び一般管理費（千円）	713,577	967,762	254,185	+35.6%
営業利益（千円）	47,036	13,270	△33,766	△71.8%
経常利益（千円）	37,425	5,417	△32,008	△85.5%
親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	24,770	△15,698	△40,468	—
1株当たり当期純利益（円）	13.8	△8.7	△22.5	—

第3四半期総括

ゴルフ事業・その他の事業は増益。トラベル事業の収益力強化に着手しております。

当社グループは『ゴルフ事業で獲得した利益を新たな事業に投資する』という方針で経営しております。その他の事業（広告メディア制作事業・メディカル事業）は前期より大幅に改善し、黒字体質になりました。トラベル事業の収益力を早急に強化し、次のステージを目指してまいります。

ゴルフ事業

売上
23億7,120万円

営業利益
3億1,340万円

トラベル事業

売上
17億6,276万円

営業損失
5,795万円

その他の事業

売上
5,906万円

営業利益
362万円

第3四半期－セグメント情報

ゴルフ事業・その他の事業は増益。トラベル事業の収益力強化に着手しております。

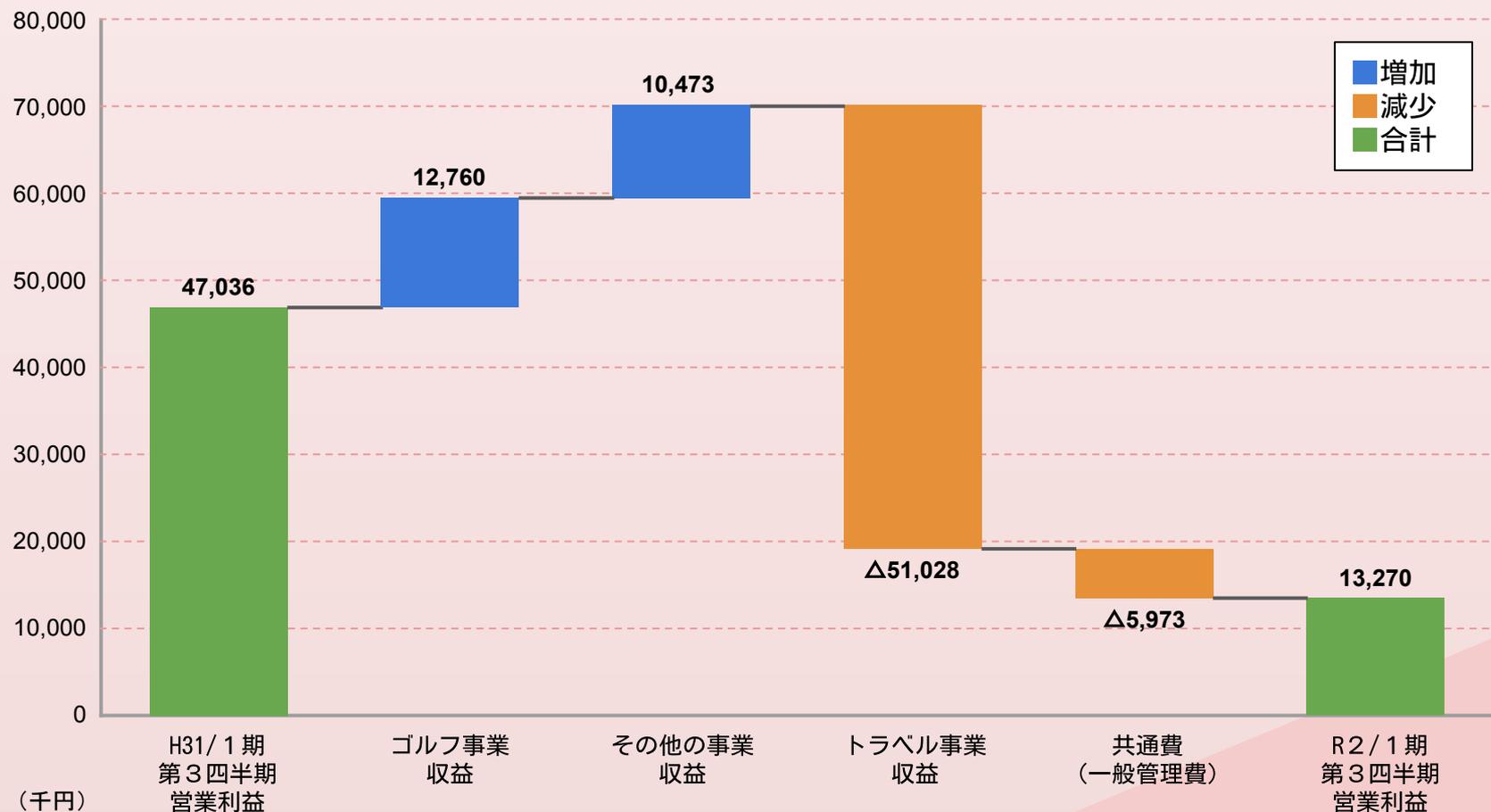
ゴルフ事業は天災等の影響を受けたものの、増収増益を達成することができました。トラベル事業は利益率の低い売上構成により増収減益、その他の事業はこれまでの収益力強化の取り組みが奏功し、減収増益となりました。

	売上高			セグメント利益		
	金額	増減額 (前期比)	前年同期比 増減率	金額	増減額 (前期比)	前年同期比 増減率
ゴルフ事業 (千円)	2,371,207	+216,132	10.0%	313,140	+12,760	4.2%
トラベル事業 (千円)	1,762,768	+1,050,416	147.5%	△ 57,950	△ 51,028	—
その他の事業 (千円)	59,064	△ 11,171	△ 15.9%	3,626	+10,473	—

第3四半期総括－利益増減分析

ゴルフ事業・その他の事業は増益。トラベル事業の収益力強化に着手しております。

ゴルフ事業は天災等の影響を受けながらも増収増益を達成、その他の事業も増益となっております。グループの課題はトラベル事業の収益力にあると認識し、強化に向けた様々な施策を推進しております。



第3四半期トピックスーゴルフ事業

ASPサービス
VGレッスン

台風15号・19号
による影響

ゴルフ場の休業・廃業が発生したものの拡大基調に変化はなく、増収増益を維持しました。

ECサービス
ECサイト
売上高

前年同期比
118.8%

ゴルフ用品販売全体で前年同期比109.0%。その中でもECサイトの売上は118.8%と全体の売上を牽引する成長となりました。

ECサービス

配送料及び
モール手数料等
の値上げ

EC販売に係るコストが増加傾向にあり、利益率を押し下げる要因となりました。

第3四半期総括ーゴルフ事業

1人予約ランド等、WEBサービスは引き続き好調。ゴルフ用品販売においては、ECサイトを中心に売上高が堅調に推移。天災のマイナス要因がありながらも、それを乗り越える結果となりました。

【1人予約ランド】

- 各種イベントの開催
- ボール付きプラン、スタンプラリー等ヒット企画の継続

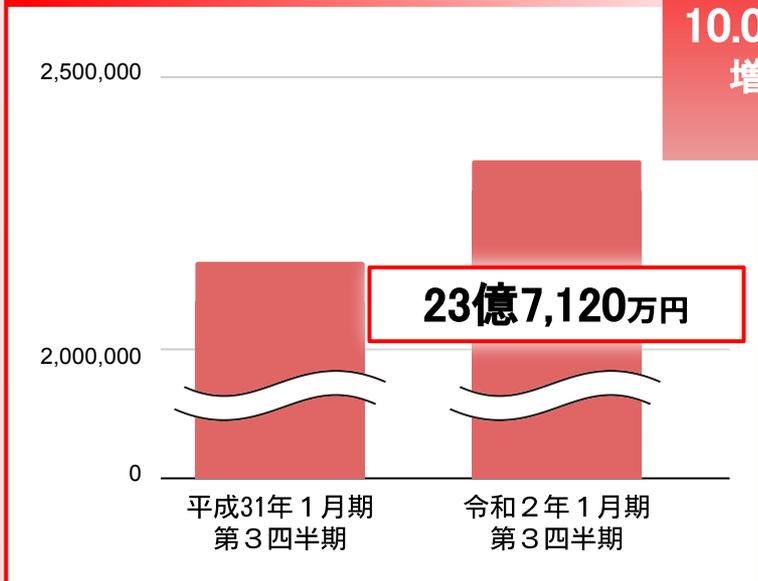
【ゴルフ用品販売】

- EC通販を中心に売上高増
- キャッシュレス還元セール等消費増税対策の実施

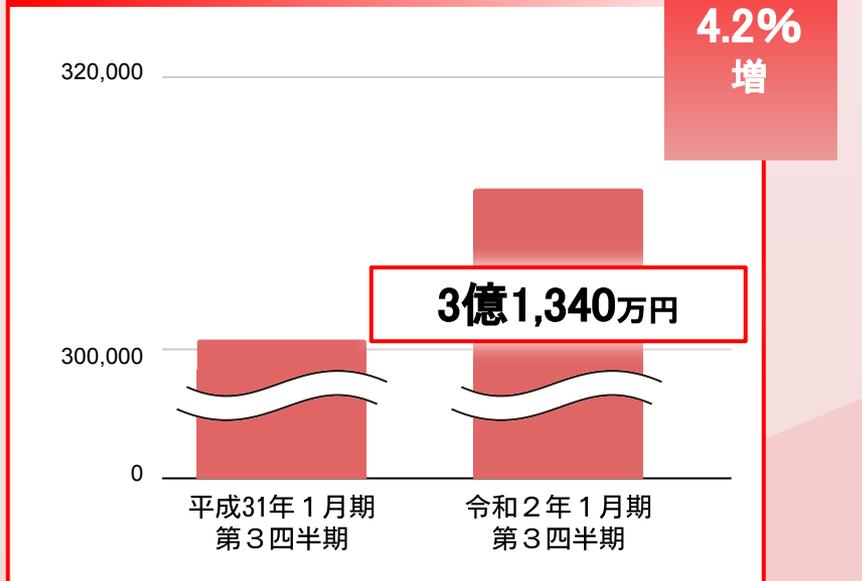
【レッスンサービス】

- コース数、コーチ数が業界最大規模に（オンコース）
- 会社、大学等法人営業による会員の獲得（インドア）

売上高



営業利益



第3四半期トピックス—トラベル事業

大型社員旅行

**約900名の
社員旅行を受注**

昨年に引き続き、大型案件の2020年1月催行が確定しました。当事業における最大規模の案件であり、通期の業績に大きく寄与することが期待されます。

**人員配置の
見直し**

支店の統廃合

地方支店の統廃合を含めた人員配置の見直しを行いました。これにより一時的な費用が発生しましたが、今後の成長に向けた体制が整えられたと考えております。

**取り扱い商品の
見直し**

利益確保

利益率の低い商品の取り扱いを見直し、人的リソースを高利益商品に集中させました。売上高が減ったとしても、より多くの利益を確保できる体制を構築しています。

第3四半期総括ートラベル事業

バスツアー・研修旅行など団体旅行が定番化。第4四半期催行の大型社員旅行を受注。

昨年より開始したバスツアーや研修旅行が好評を得て、リピートの依頼を受けております。また、昨年も催行した大型社員旅行を、今年も受注いたしました。リストラクチャリングにより一時的なコストが発生しましたが、体制が整いました。

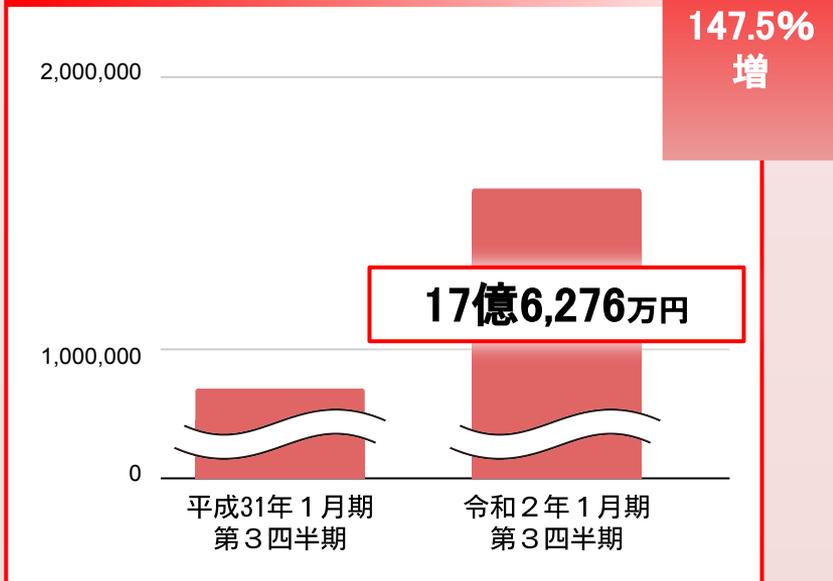
【団体旅行企画の定番化】

- ・ 在日外国人向けバスツアー
- ・ 各種研修旅行

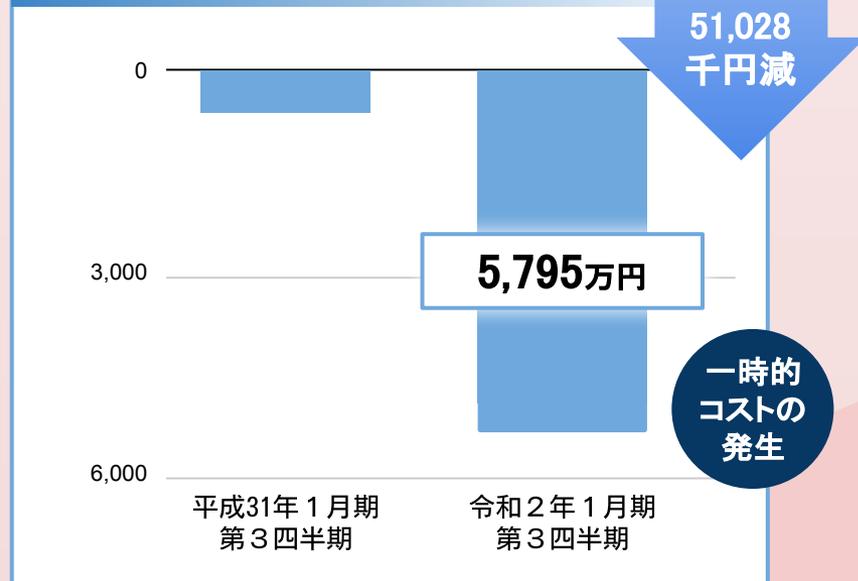
【大型社員旅行受注】

- ・ 第4四半期売上高への影響大
- ・ 継続受注への種まき

売上高



営業利益



第3四半期トピックスーその他の事業

【広告メディア制作事業】
収益力強化

減収増益

構造改革が奏功し、減収ながらも増益し、安定的に収益を見込める事業構造となりました。

【メディカル事業】
サプリメント

「スタブルUC-II」
販売プロモーション
の強化

まずはゴルファー向けに販売した「スタブルUC-II」を一般向けにも販売開始。無料モニターを募集し、ユーザーにとって始めやすい環境を整えました。

【広告メディア制作事業】
グループ内
広告制作センター

グループ内の
広告案件の管理

グループ内の制作センターとして案件を集中管理。グループ全体で効率的な運用ができる体制づくりを進めます。

第3四半期総括－その他の事業

広告メディア制作事業は売上高増加と販管費減少を達成。メディカル事業はサプリメントの無料モニターを募集開始。

【その他の事業】

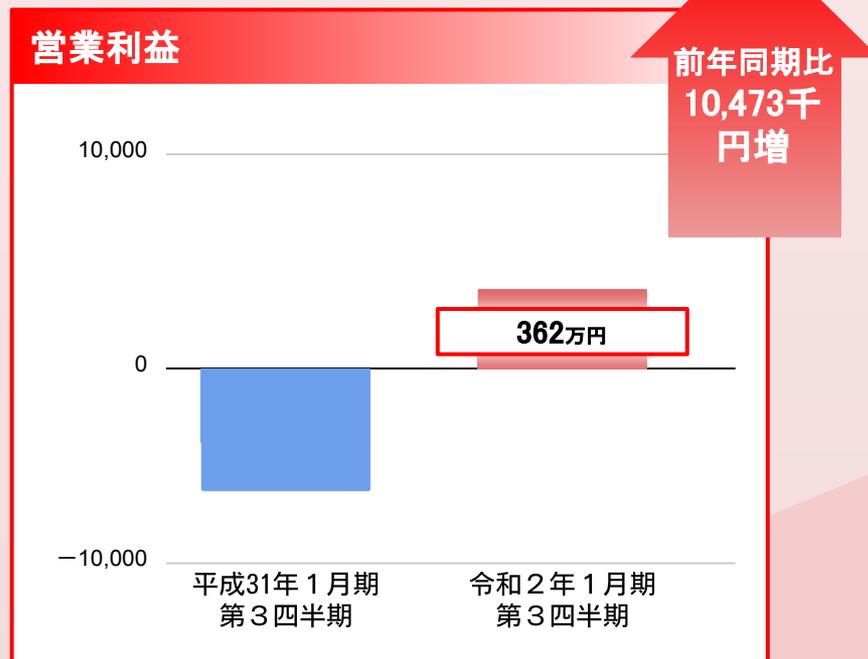
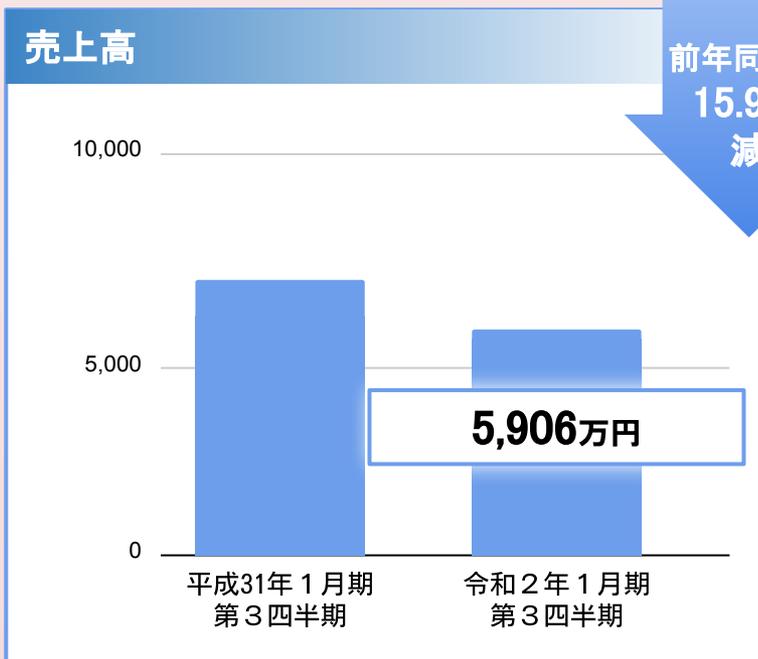
(広告メディア制作事業)

- ・売上高増加と販管費減少
- ・受注増に対応する体制の構築

【その他の事業】

(メディカル事業)

- ・サプリの低額モニター募集開始
- ・未アプローチの病院への営業強化



令和2年1月期

第4四半期の取り組み

第4四半期の取り組み

1. 利益率改善への取り組み

- ゴルフ事業…商品ラインナップや販売価格の見直し頻度を上げ、増加傾向にある販売コストを吸収し、利益面のコントロールを強化していきます。また、1人予約ランドにおけるイベントを強化し、さらなる拡大を目指します。
- トラベル事業…低利益商品の取り扱いを見直すことで利益額を確保した上で、構造改革によるコスト削減を加速させます。

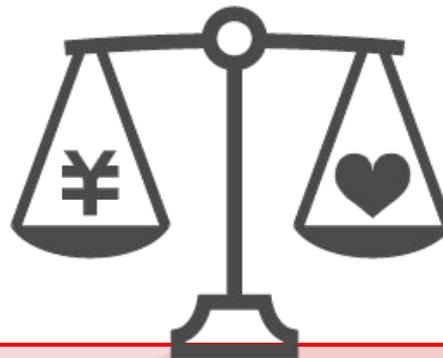
【ゴルフ事業】 利益のコントロール

商品ラインナップ、販売価格
の見直し



【トラベル事業】 利益確保と構造改革

取扱商品の見直しとコスト削減



第4四半期の取り組み

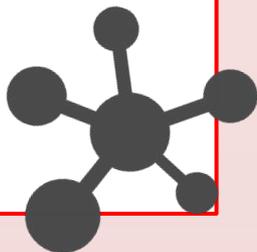
2. 新商品の開発と生産性の向上

- ゴルフ事業…バリューゴルフ大崎を活用したイベントの開催等、拠点を持つ強みを活かした施策を遂行します。また、よりゴルフ場が読者にアプローチしやすくするために、フリーペーパー「月刊バリューゴルフ」本誌の誌面をリニューアルいたします。
- トラベル事業…ゴルフ×トラベル、メディカル×トラベルを含め、新商品の開発をさらに進めていきます。
- その他の事業…広告メディア制作事業をグループ全体の制作センターと位置づけ、案件を集中管理し、制作の効率化を加速させます。

【ゴルフ事業】 イベント開催、フリー ペーパーリニューアル

- バリューゴルフ大崎等の拠点を活かしたイベント開催
- 月刊バリューゴルフリニューアル

NEW



【トラベル事業】 シナジーによる商品開発

異業種間のシナジーから
生み出される新商品



【その他の事業】 広告制作等の集中管理

制作センターとして
グループ内の広告を担当



令和2年1月期

通期連結業績予想

業績予想-修正

最近の業績動向を踏まえ、令和2年1月期の通期業績予想を精査した結果、業績予想を変更いたしました。

	期初予想	修正予想
売上高 (百万円)	6,469	5,782
営業利益 (百万円)	217	64
経常利益 (百万円)	203	52
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	159	21
1株当たり当期純利益 (円)	89.26	11.98

業績予想-修正の理由

当第3四半期は天災や構造改革のために減収減益に。当社グループ全体で取り組んだ経営効率化の効果が出始め、販売費及び一般管理費は減少しました。

売上高

ゴルフ事業

各種サービスが好調のため、101百万円増

トラベル事業

低利益率商品の取り扱い見直し、リストラクチャリングの影響で、733百万円減

その他の事業

メディカル事業での納品ずれ発生の可能性があるため、39百万円減

以上の結果、期初計画より687百万円減の5,782百万円を予想。

営業利益

売上原価の変動

売上高の変動にともない、売上原価は473百万円減

販売費及び一般管理費の変動

構造改革の成果により、販売費および一般管理費は60百万円減

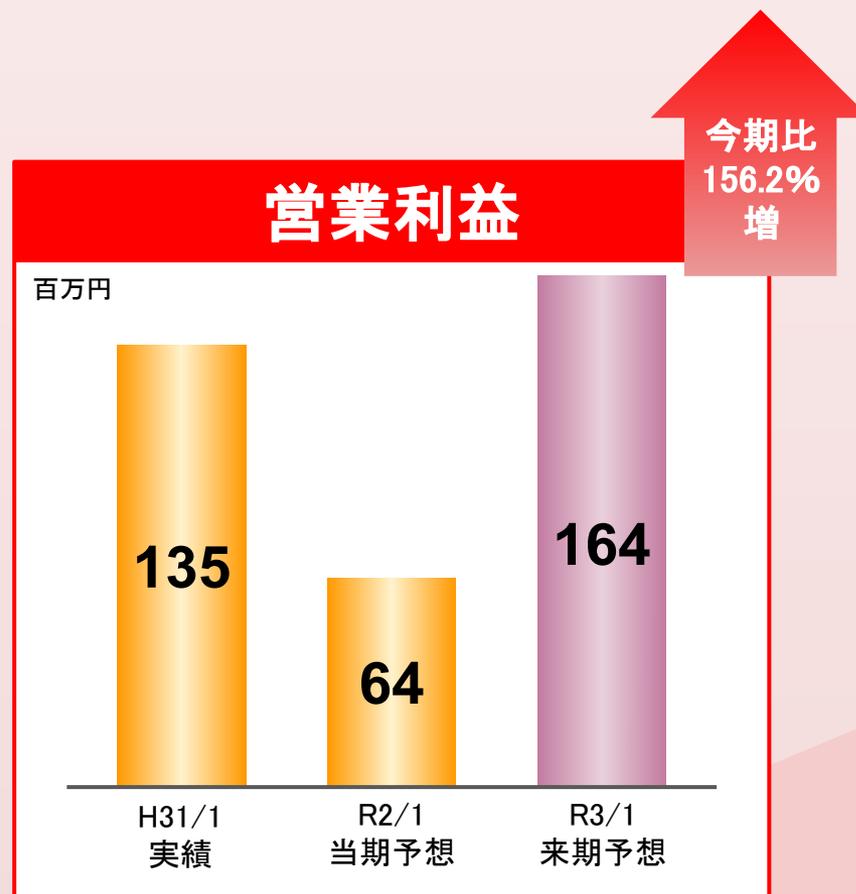
以上の結果、期初計画より152百万円減の64百万円を予想。

経常利益 当期純利益

営業利益の減少にともない、経常利益は52百万円に、親会社株主に帰属する当期純利益は21百万円にそれぞれ変動。

業績予想-来期予想

天災の影響による来期売上高の繰り延べ見込み、復興などによるゴルファーの消費マインドの上昇、事業効率化・構造改革の進行による利益の創出、トラベル事業の黒字化達成等で、来期は増収増益の予想となっております。



将来見通しに関する注意事項

本資料の取り扱いについて

本資料において記述される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらの文言は、現在における見込み、予測、リスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでいます。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特にサービスに関連した見通し情報に存在します。リスク、不確実性には、当社の関連する業界動向、技術的進歩、その他内部・外部要因、サービスの安全性ならびにクレームや懸念、国内外の事業に影響を与える政府の法規制、サービス開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。従いまして実際の業績が本資料に記載されている将来の見通しに関する記述等と異なるリスクや不確実性がありますことを、予めご了承下さい。





本資料の著作権は株式会社バリューゴルフにあります。本資料の内容の一部または全部における無断転載を固く禁じます。
本資料に関するお問い合わせは 当社IRグループ (ir-inquiry@valuegolf.co.jp / 03-6435-1535) までお願いします。



東証マザーズ上場

証券コード:3931